

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月27日

計画の名称	市民の命と暮らしを守る通学路等の生活空間における交通安全対策（防災・安全）																					
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当		○									
交付対象	枚方市																					
計画の目標	通学路等の生活空間において交通安全対策に取り組み、安全・安心な交通環境の整備を促進する。																					
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		5,024		A	5,024		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	枚方市通学路交通安全プログラムに基づく枚方市関連事業の実施率を高める。 枚方市通学路交通安全プログラムの進捗確認により実施率を算出。 （枚方市関連事業の実施率）＝（枚方市通学路交通安全プログラムに基づく枚方市関連事業の実施数（部分供用含））／（枚方市通学路交通安全プログラムに基づく枚方市関連事業数）			
		28%	45%	67%
2	自転車の車道左側通行を認識できる環境整備率を高める。 枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画における自転車の車道左側通行を認識できる環境の整備延長により自転車通行空間の整備率を算出。 （自転車通行空間の整備率）＝（自転車の車道左側通行を認識できる環境の整備延長）／（枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画における自転車の車道左側通行を認識できる環境の整備が必要な延長）			
		8%	18%	37%
3	枚方市域における鉄道駅周辺のバリアフリー化実施率を高める 枚方市バリアフリー道路特定事業計画及び枚方市バリアフリー基本構想等に基づく鉄道駅周辺のバリアフリー化事業の実施率 （鉄道駅周辺のバリアフリー化事業の実施率）＝（駅周辺におけるバリアフリー化事業を実施した鉄道駅数）／（枚方市域における鉄道駅数）			
		42%	50%	58%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	枚方市	直接	枚方市	S街路	改築	御殿山小倉線（ 2 工区 ）	道路改築 L=720m W=14m	枚方市						1,260		-
	A01-002	街路	一般	枚方市	直接	枚方市	S街路	改築	中振交野線	道路改築 L=450m W=16m	枚方市						510		-
	A01-003	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	新設	牧野長尾線	道路新設 L=1050m W=16m	枚方市						2,441		-
	A01-004	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	枚方藤阪線	自転車通行空間整備工事 L=580m	枚方市						7		-
	A01-005	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	自転車通行空間整備事業 （ 楠葉地区 ）	自転車通行空間整備実施設計 L=7.28 k m	枚方市						10		-
	A01-006	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	楠葉中央線	自転車通行空間整備工事 L=1280m	枚方市						15		-
	A01-007	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	楠葉中宮線	自転車通行空間整備工事 L=3000m	枚方市						40		-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-008	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	牧野長尾線	自転車通行空間整備工事 L=2500m	枚方市						60		-
	A01-009	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	長尾船橋線	道路空間再配分整備 L=550m	枚方市						77		-
	A01-010	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	楠葉中央線	駅前広場整備 L=350m	枚方市						114		-
	A01-011	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	渚第 1 号線	バリアフリー歩道整備 L=130m	枚方市						9		-
	A01-012	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	中宮区第33,34号線	歩道フラット化 L=640m	枚方市						103		-
	A01-013	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	禁野第 3 号線・宮之阪第 1 3 号線	バリアフリー・自転車通行空間整備 L=710m	枚方市						98		-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-014	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	御殿山駅周辺バリアフリ ー工事	バリアフリー工事 L=340m	枚方市						60		-
	A01-015	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	牧野駅周辺バリアフリー 工事	バリアフリー工事 L=140m	枚方市						13		-
	A01-016	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	津田第 1 号線	歩道拡幅（通学路） L=30m	枚方市						10		-
	A01-017	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	枚方新香里線	歩道拡幅（通学路） L=140m	枚方市						60		-
	A01-018	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	尊延寺穂谷線	歩道拡幅（通学路） L=150m	枚方市						50		-
	A01-019	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	中振新香里線	歩道拡幅（通学路） L=150 m	枚方市						50		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-020	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	長尾船橋線	自転車通行空間整備工事 L=1670m	枚方市						14	-	
	A01-021	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村 道	交安	津田駅周辺バリアフリー 工事	バリアフリー工事 L=230m	枚方市						23	-	
											小計						5,024		
											合計						5,024		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 枚方市土木部の組織にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和7年11月
	公表の方法 枚方市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交通安全対策を実施することで、枚方市域全体の安全・安心な交通環境の向上が図られた。 計画策定当初（令和元年度）より令和5年度末時点では、市域全体の歩行者等の交通事故件数の減少が確認された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
通学路の交通安全対策については、枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき効率的・効果的に事業を推進する。 自転車通行空間整備については、枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画に基づき効率的・効果的に事業を推進する。 鉄道駅周辺のバリアフリー化事業については、枚方市バリアフリー基本構想に基づき効率的・効果的に事業を推進する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	67%	目標達成
	最 終 実績値	67%	
2			
	最 終 目標値	37%	歩道の安全確保としてバリアフリー整備を優先的に実施したため、自転車通行空間の整備進捗が低下した
	最 終 実績値	33%	
3			
	最 終 目標値	58%	目標達成：歩道の安全確保としてバリアフリー整備を優先的に実施した
	最 終 実績値	83%	